

* 新春特別企画 * 「戌年の組合にインタビュー」

新春特別企画は、設立年が「戌年」の組合に新年の抱負を伺いました。

犬のお産は安産であることから、戌年生まれは何かと縁起が良いとか。そんな戌年に誕生した組合の理事長にこれまでの組合の歩みや今年の抱負を伺いましたのでご覧ください。

① 組合紹介など(PR含む)

② 今年の抱負を漢字一文字で

秋田県自転車軽自動車商業協同組合

〔設立60年〕

①秋田県自転車軽自動車商業協同組合(千葉友悦理事長)は、自転車販売店で組織され今年で創立60周年を迎える組合です。

「街の自転車屋さん」は、地域住民の自転車に関する相談を受ける社交場のような存在として長年地域に愛されてきました。そして今もお、155名の組合員が、皆さんの大切な自転車を快適に楽しんでいただけるよう地域に根ざして頑張っています。

近年は、エコや健康志向も広がり自転車利用者数は増えつつありますが、一方で交通事故も増えてきている状況にあることから、組合では「TSマーク」の普及に力を入れています。

自転車安全整備士による点検と整備を受け、

安全が確認された自転車にはTSマークのシールが貼付され、これは傷害補償・賠償責任補償・被害者見舞金が付帯しますので、安全・安心が保証されたTSマーク付の自転車をご利用いただきたいと思います。

日々の暮らしの中で、これまで以上に自転車をご利用いただけるよう組合員一同励んでいますので、お近くの自転車販売店までお気軽にお立ち寄り下さい。



携

②交通手段として日頃から利用されている自転車は、健康増進や交通の混雑緩和に繋がることから、昨年5月に「自転車活用推進法」が施行されました。今後は、国・自治体・事業者・国民の責務などを盛り込んだ「自転車活用推進計画」が策定されることとなっており、我々自転車関連業界にとっては大きなチャンスと捉えています。

公道を走る自転車の安全確保のためのメンテナンスはとても大切であり、組合では、自転車安全整備士による年1回のTS点検整備の普及を目指し、組合員と「連携」を強固にしながら、節目の年を駆け抜けたいです。

協業組合田沢湖共栄パレス

〔設立48年〕

①協業組合田沢湖共栄パレス(鬼川孝助理事長)は、観光客が飛躍的に増加した1970年に店舗の大規模化を図るとともに経営規模の拡大を目的に企業組合から協業組合に組織変更した組合です。

田沢湖畔に立地する組合施設には、秋田の郷土料理が堪能できる「飲食スペース」や「お土産店」があるほか、稲庭うどんの製造工程や天然記念物に指定されている「秋田犬」と触れ合えるコーナーなどの観光スポットを整備したことで、年間来客数は約13万人を誇り、ゴールデンウィークには県内



〔人気の秋田犬〕

戌

外から観光客や家族連れなど1日約3,000人が訪れる田沢湖でも人気のスポットです。

当組合のお土産店では、秋田の地酒や名産品を数多く取り揃えながら、商品POPに工夫を施すことで、購入したい商品を手軽に分かりやすくご案内できるよう心掛けています。

お客様が支払う価格以上の「満足」と「サービス」を提供できるよう従業員が一致団結して取り組んでおりますので、田沢湖にお越しの際は是非一度お立ち寄りください。組合員・事務局一同、心よりお待ちしております。



〔豊富な品揃えのお土産店〕

②当組合の見所である職人が丹精込めて作る稲庭うどんの作業見学スペース、国指定の天然記念物を含む「秋田三鶏」、そして、当組合の観光の目玉である「秋田犬」をPRし、戌年を迎える本年も田沢湖の観光スポットとして、県内外や外国からの観光客の誘客など積極果敢に取り組んでいきたいと思っています。

大館管工事業協同組合

[設立24年]

①大館管工事業協同組合(畠山進理事長)は、前身の大館管工事業協会を法人化し、1994年に設立しました。組合では、資材の共同購買事業を実施するほか、組合員企業の役職員を対象とした研修会を開催することで資質向上に努めています。

私たちの生活にとって欠かせない「水」のインフラを守るため、組合では大館市と災害協定を締結しており、昨年9月に大館市で開催された秋田県総合防災訓練における「上水道のインフラ復旧訓練」にも参加しました。今後は防災訓練で得た教訓を活かし、組合内における災害時の連絡訓練を重ねながら、伝達体系の検証をしていくつもりです。

また、大館市内で普及が進んでいる下水道についての理解を深めてもらおうと、昨年開催した大館市主催の下水道展では組合員企業による相談コーナーを設けました。トイレなど水

回りの改修工事に関する相談を受け付けたほか、組合青年部の水青会が地中に埋まっている排水設備の実物模型を製作・展示しました。

最近、近隣地域の弘前市、黒石市及び青森市にある管工事業協同組合と積極的に交流することで、組合間連携による組合員企業の受注獲得に結びつけようと取り組んでいるところです。



[畠山理事長]

十カカ

②協同組合の「協」であり、協力の「協」でもあります。

昨年5月に組合の理事長に就任してから初めて新年を迎えますが、今年、協同組合の「相互扶助の精神」を大切にしながら、組合員企業各社が今まで以上にお互いを助け合う1年にしていきたいです。

協調・協力のもとで組合活動を行いながら、結束力の強い組合を目指していきます。

企業組合さくら家

[設立12年]

①企業組合さくら家(伊藤イマ子理事長)は、高齢者が地域で孤立することなく快適・安心に過ごせる通所介護事業(デイサービス)を目指し、2006年に設立しました。

開業して気付いたことはデイサービスの潜在的ニーズの高さでした。アットホームな雰囲気を提供するサービスは口コミで広がり利用者は順調に増加していきました。

設立当初は自宅を改装した小さな事業所からのスタートでしたが、平成23年に中古物件を改修した事業所を増設し、現在の稼働率は9割以上を維持しています。

昨年11月には、食事やサービスを受けながら安心して入居できる高齢者向け住宅「リアン・さくら家」を新設しました。リアンとはフランス語で「絆」を意味し、一つの家族のように、

自宅にいるような安心した生活環境を提供したいという想いが名称に込められています。

現在は、将来の事業承継に向けて後継者育成にも取り組んでいる最中です。これからも地域に必要とされるよう、いつでも施設内に笑顔と笑い声が溢れるような心温かいサービスを提供していきたいと思っています。



[スタッフ(左)／伊藤理事長(右)]

絆

②昨年末に高齢者向け住宅「リアン」を新設したこと、皆が家族のように過ごせるよう「絆」を深める1年にしたいです。

組合も私自身も成年生まれですので、公私ともに犬のように元気に駆け回る元気な年にしていきたいですね。さくら家では、いつでも息抜きに遊びに来て頂けるような雰囲気づくりをこれからも大切にしながら、少しでも地域に貢献できるよう努めていきたいです。